

DISCLOSURE 2017

平成28年度 ディスクロージャー誌

Nishi-Nippon Financial Holdings



西日本FH

西日本フィナンシャルホールディングス



西日本シティ銀行



長崎銀行

Content

ごあいさつ	2
西日本フィナンシャルホールディングスについて	3
中期経営計画「飛翔2020～知恵をしぼろう～」	5
平成29年3月期業績ハイライト	7
金融仲介機能の発揮に向けた取組み	11
地域の活性化に関する取組み	17
CSRへの取組み	18
トピックス～新たな取組み～	22
安心に向けた取組み	24
業務運営方針	
コーポレート・ガバナンス	25
コンプライアンス（法令等遵守）への取組み	28
子会社が契約している指定紛争解決機関	29
リスク管理への取組み	30
会社概要・主要な業務内容・店舗のご案内	
西日本シティ銀行	34
長崎銀行	43
資料編	
西日本フィナンシャルホールディングス	45
西日本シティ銀行	93
長崎銀行	183

●本資料は銀行法第21条及び第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー誌です。
●計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しています。



西日本フィナンシャルホールディングス 代表取締役社長

谷川 浩道

ごあいさつ

皆さまには平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

平成28年10月、私たちは、グループ各社の特長・強みの発揮に向けて、グループ内の結束・連携を一層強化し、将来のさまざまな環境変化やリスクに適切に対応するため、西日本フィナンシャルホールディングス（以下、西日本FH）を頂点とした持株会社体制へと移行し、新たな経営管理態勢を構築しました。本持株会社体制の下、地域に根ざす総合金融グループとして、グループ総合金融力を一段と進化させ、「地域経済へのさらなる貢献」と「グループ企業価値の最大化」に取り組んでおります。

さて、平成28年度のわが国経済は、輸出・生産面に持ち直しの動きがみられたほか、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調をたどりました。当社グループの地元である九州の経済も、熊本地震の発生によって、一時的に生産面での落ち込みがみられたものの、その後は、九州観光支援のための助成制度や好調なインバウンド需要などにも支えられ、景気は緩やかに回復しております。

そうした状況において、当社グループは平成29年4月から平成32年3月までの3年間を計画期間とする中期経営計画「飛翔 2020 ～知恵をしまろう～」をスタートいたしました。

金融機関を取り巻く経営環境はかつてないほど速いスピードで大きく変化し続けており、銀行業界では、経営革新への取組みが喫緊かつ重要な課題となっております。そうした環境認識の下、西日本FHグループは、さらなる飛躍に向けた基盤拡大に取り組み、お客さまに選ばれる地域金融グループを目指し、グループ総合金融力の進化に挑戦いたします。

新中期経営計画の名称は、西日本FHグループが一丸となって、より高い目標に向かって積極果敢に挑戦し、お客さま・地域の皆さまとともに未来に向かって大きく“羽ばたいていく”という意味を込めて、「飛翔」といたしました。また、その副題「知恵をしまろう」には、お客さま・地域の皆さまのために、全職員が“知恵をしまる”という意味を込めております。

これからも、役職員一同、地域に根ざした総合金融グループとして、全力を傾注し、熱い「ココロ」でお客さまの期待を超える「コタエ」を提供し、地域経済の活性化に積極的に貢献してまいり所存ですので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年 7 月